

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	AYA(Adolescence and Young Adult)世代がんの個別化予防に資する遺伝 要因の同定を目指す研究
	研究目的	AYA 世代（思春期や若い成人）のがんは，その数も少なく，背景となる遺 伝的な要因については，ほとんど判っていません．そこで，この研究では 複数の医療施設が共同して研究を進めます．がんセンターでは，2006 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日の間に治療を受けた子宮頸がん，子宮体が ん，卵巣がん・卵管がん・腹膜がんの患者さんを対象とします．血液など から得られたゲノム DNA を用い，子孫に受け継がれる遺伝子の多様性を 調べ，患者さんの匿名化された診療情報や生活習慣情報と照らし合わせ て，がんの発生や特性に関わるもの（遺伝子座）を探します．AYA 世代（16 歳から 39 歳）の方と 40 歳以上の方の情報を比較し，AYA 世代の婦人科が んに特徴的な点を探します．これが解明されると，AYA 世代のがんの発症 予防や治療法の開発に極めて有用な情報が得られます．
	研究期間	西 暦 2021 年 10 月 19 日 ～ 西 暦 2021 年 3 月 7 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を 利用します）	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	加藤 久盛
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	産婦人科，臨床研究所，生体試料センター
	共同研究の場合，共同 研究機関および各施設 での研究責任者	国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野 河野 隆志 化学研究所統合生命医科学研究センター チームリーダー 桃沢 幸秀